

『学校だより』令和2年度12月号

在籍数：小学部16名，中学部2名 合計18名

Escuela Japonesa de Panamá

パナマ日本人学校

TEL: 223-7782 269-4726 FAX: 264-4751

E-mail: japonesa@panama.lolipop.jp <http://panama.lolipop.jp/>



第2学期 終業式を終えました

校長 小坂 誠二

今日で8月20日から始まった2学期の約4か月間が終わります。その間、6人が加わりパナマの子どもたちは10人、日本の子どもたちは8人合わせて18人のパナマ日本人学校となっています。この数は2008年の21人以来最大の人数になっています。ところが、二国に分かれることによって、半減しているのが現状です。それだけに月に1~2度、こうした出会いの場があることをとても大切に思っています。

何年かのちには、今のこの新型コロナウイルスによる世界中の混乱が、教科書にも載ることと思います。それほどすごい時期に皆さんは生きている、過ごしているということです。

それでも、病気に負けず、パナマにいる子ども達は、オンラインの授業を毎日よく続けてくれました。おかげでパソコンの使い方がとても上手になったようで素晴らしいことと思います。

日本にいる子どもたちは、たくさんの人数の学校でいろいろな学習に頑張っていることと思います。またお父さんと離れ離れになって寂しい思いをしている人もいると思いますが、お母さんを助けながら、この大変な時期を乗り越えていって欲しいと願っています。中には、朝早くからパナマのオンライン授業に参加して、それから学校に通っているお友だちもいるようです。よくがんばってくれました。

パナマの先生たちは、毎日会えない日本の皆さんを案じながら、少しでも別れたみんなが一緒になれるにはどうしたらよいかを考え、授業や全校集会を工夫してきました。パナマと日本の時差は14時間です。いっしょに過ごす時間を作るのはとても難しいですが、今日の終業式のように、10分間でも20分間でも顔を合わせる時間が持てれば、うれしいなと思っています。今から75年前に日本は、アメリカと戦争をしました。約4年間です。今80歳以上のおじいちゃんやおばあちゃんは、その戦争中に子どもとして過ごしました。とても大変だったと聞いています。その頃のお話が本になってたくさん出ていますので、この冬休みに子どもたちには手に取って読んでほしいと思います。

それでは最後に、これから冬休みに入りますが、健康には十分気を付けて過ごしてください。日本とパナマ14000km離れていても心は一つになって過ごしていきましょう。

(終業式挨拶文を一部編集)

終業式から 2学期がんばったこと、できるようになったこと

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| KM 算数が早くできるようになりました。 | SY パナマの6時間目の授業に出席するのをがんばりました。 |
| AM かけ算と漢字を毎日がんばりました。 | SR 漢字検定8級をがんばりました。 |
| NA 1学期と比べてけん玉をがんばりました。 | MK 音楽で楽ふを見てひけるようになりました。 |
| IE 百マス計算が3分でできるようになりました。 | KY スピーチで気持ちを詳しく説明できました。 |
| IS 社会の授業のまとめができるようになりました。 | MS 図工の絵を集中し自分で認められる絵になりました。 |
| KT プレゼンアプリを使って発表できるようになりました。 | |
| YK 社会のノートを分かりやすく書けるようになりました。 | |
| NY オンラインアプリで分かりやすく伝えられるようになりました。 | |
| IS 算数で友達の考えを聞いて、解き方を考えられるようになりました。 | |
| SK 算数の素因数分解ができるようになりました。 | NU 長縄跳び大会をノーマスでたくさん跳べました。 |
| IK 苦手な科目を復習し、できるようになりました。 | OY 数学と英語が高得点をとれるようになりました。 |

(発表を一部編集)